

## 📄 複十字シール運動とは…

複十字シール運動は、結核を中心とした胸の病気をなくして、健康で明るい社会をつくるための運動です。その実現のために募金活動を行うとともに、病気への理解を広め、予防の大切さを伝えていきます。

*Double-Barred Cross Seal is dedicated to raising funds for programs to eliminate tuberculosis and other lung diseases and raising awareness of the diseases. It is originated from the world's first Christmas seal issued in Denmark in 1904. The seals are issued in many countries.*

## 🏠 運動のはじまり

1904年にデンマークでクリスマスシールが発行され、その益金は結核に苦しむ人々のために役立てられました。これが運動のはじまりです。シールを使った募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は1952年に最初のシールを発行しました。

募金いただいた方にシールを差し上げています。



シールをお使いいただくことで、運動の輪が広がります。

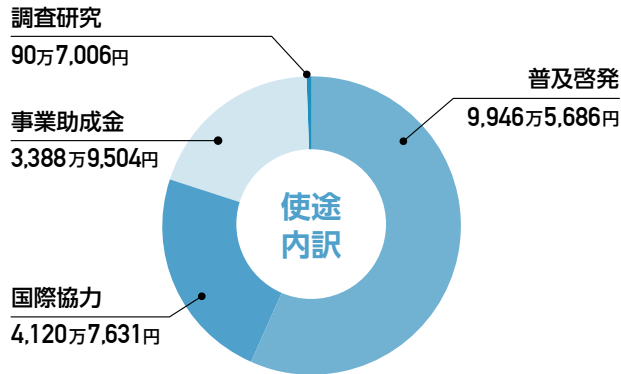
シールに込められた結核予防への思いが未来に受け継がれることを願って、複製版シールをつくりました。

✚ 複十字章は世界共通の結核予防運動のシンボルです。

## 📄 2018年度 募金報告

募金総額 **2億101万308円**

益金 **1億7,546万9,827円**  
(諸経費除く)



## 📄 税の優遇措置・表彰制度

### 税の優遇措置

募金は、寄附金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

### 表彰制度

年間個人50万円、法人100万円以上の募金をいただいた方に、結核予防会の規定により、式典において結核予防会総裁秋篠宮皇嗣妃殿下名の感謝状の贈呈がごございます。

## 📄 結核予防会とは

日本で結核がまん延していた昭和14年に内閣総理大臣に賜った皇后陛下の令旨に基づき設立された公益法人。設立以来、日本と世界から結核をなくすための活動を続けている。

### 問い合わせ

複十字シール募金は結核予防会および全国各都道府県の協力団体にてお受けしています。下記まで、お気軽にご相談ください。

## 公益財団法人 結核予防会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 1-3-12  
<https://www.jatahq.org>

フリーダイヤル **0120-416864** (募金推進部)



結核をなくすための  
**複十字シール募金**  
にご協力ください

複十字シール運動  
TB Free World 2019



複十字シール運動イメージキャラクター  
シールぼうやとシールちゃん



複十字シールには、健康を願うメッセージが込められています。

主催：✚公益財団法人結核予防会  
Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

後援：厚生労働省・文部科学省・  
公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

## ごあいさつ

結核予防会は、昭和21年から、戦後の荒廃した街頭で結核検診等の結核予防運動を行い、同時に資金造成のための募金活動を始めました。昭和27年、結核予防を国民の協力を得て進めていこうという趣旨の下に、結核予防シール(昭和30年に複十字シールに改名)を発行し、以来、全国の結核予防会支部・婦人会と連携して、日本と世界から結核を中心とした胸部疾患をなくすために「複十字シール運動」を推進し、募金活動を行っています。

皆さまからの募金は正しい知識を普及するための教育・広報・啓発活動、結核のまん延するアジア・アフリカの開発途上国の結核対策の支援・人材育成等のための資金として大切にさせていただきまます。

結核予防会は今後も結核の制圧の手を緩めることなく、国内外の活動の強化に努めてまいります。

複十字シール募金への皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人結核予防会  
理事長 工藤 翔二



## 国内・海外での具体的な活動

皆様からいただいた募金は、このような活動に大切にに使わせていただいています。

### 日本

患者数が減少し、結核への関心が低下しているため、普及啓発に重点をおいています。

全国の協力団体を通じた  
啓発キャンペーンの実施



各地での  
講習会の実施



パンフレットなど  
教育広報資料の作成・配布



医療従事者への  
技術指導



正しい知識の  
普及啓発  
(コミュニティ保健ボランティアによる啓蒙演劇)



### 海外

国内の活動で培った技術や知識、経験をもとに国際協力に取り組んでいます。感染症である結核を制圧するためには日本国内外の課題に取り組む必要があります。

募金による主な活動地域



患者さんを支える  
住民ボランティアの育成



▶ 現地での結核に対する理解を深めるため、まずは地域の村長を集めたセミナーを開催。ボランティアが演じる寸劇により、より深い関心と理解を得られました。(ミャンマーにて)

## 日本

結核を発病する人 年間約 **17,000** 人

結核で失われる命 年間約 **2,300** 人(2017年)

| 特徴 1 |

### 高齢化

新たに結核を発病する方のうち70歳以上が約6割を占める。結核が流行した時代に感染し、高齢化による免疫力の低下に伴い発病。



| 特徴 2 |

### 外国生まれの患者増加

20代では外国生まれの患者が6割を占める。留学、就業で、結核罹患率が高い途上国(アジア)から若い世代が入国。



日本は世界の中では中蔓延国です。2020年までに罹患率人口10万対10以下(低蔓延国化)の達成を目指しています。

## 世界

結核を発病する人 年間約 **1,000** 万人

結核で失われる命 年間約 **160** 万人(2017年)

| 特徴 |

### 保健医療の遅れや貧困

結核は世界の死亡原因のトップ10の一つであり、世界の総人口の約1/4が結核に感染している。アジアとアフリカの国々では特に結核患者が多く、深刻な問題である。



結核などの感染症は貧困と深く関わる問題です。結核が国民病であった時代から現在の罹患率まで低下させた日本の経験を世界に伝えていく必要があります。

## 結核とは...

結核は結核菌を吸い込むことで感染する病気です。免疫力が弱まっていると発病しやすくなります。薬で治るようになりましたが、早期発見・早期治療が重要です。2週間以上、咳などの症状が続いたら結核を疑って医療機関を受診しましょう。



## 結核の現状

## 結核 Information